

月刊オギネの紹介です。

○ 自治と共同体の価値を記録し実践する地域雑誌『月刊オギネ(옥이네)』

・『月刊オギネ』は、大韓民国忠清北道沃川郡(オクチョングン)にある社会的企業「地域文化活力所ゴレシル」が発行する月刊誌です。沃川の「肥沃の沃(オク)」の字にちなんで名付けられたこの雑誌は、農村の暮らしと地域共同体の物語を記録しています。すべての人が都市を目指す時代であって、『月刊オギネ』は「歴史に残る1%ではなく、歴史をつくった99%を記録する」という信念のもと、2017年に創刊されました。

・自治・自給・生態をキーワードになる価値観に基づき、農村を支えてきた人々の暮らしや土地、失われつつある歴史と文化を取り上げています。一つの村の歴史を抱える高齢者、地域を築いてきた農民や若者、共同体活動家の物語を、繊細に記録しています。

・『月刊オギネ』は、単なるアーカイビングを超え、地域社会に変化を促す「ソリューション・ジャーナリズム」としての性格も備えています。雑誌で取り上げた課題意識をもとに、オフラインの集まりをつくり、討論と行動を重ねるプロセスを着実に促してきました。

・例えば、農村基本所得の必要性を扱った報道を基盤に、青少年基本所得の実験を企画し、条例制定を導きました。また、野良猫問題に関する報道とキャンペーンを通じて、動物保護条例の制定にも寄与しました。

・さらに、人文学講演、気候正義キャンペーン、ローカルフード菜食料理教室など、多様な活動を企画し、小さな郡地域でも想像力を広げる取り組みを続けています。

・農村人口の減少と地域危機のなかで、『月刊オギネ』は「自治」という価値を地域社会に再び刻み込み、住民自らが暮らしの場をつくり出す動きを広げることに貢献しようとしています。地域性と共同体の価値を基盤に、農村と都市をつなぐ架け橋となることを目指しています。

・『月刊オギネ』は、また、文化体育観光部と韓国雑誌協会が運営する「優秀コンテンツ雑誌」に選定(2020~2023年、2025年)され、2023年には「韓国雑誌ジャーナリズム賞特別賞」を受賞しました。